

読書会

「3カ月で読む

『肩をすくめるアトラス』」

第一部「矛盾律」

日時： 2015年11月15日（日） 15:30～17:30

会場： TKP虎ノ門ビジネスセンター ANNEX
ミーティングルーム4A

主催： 東京アイン・ランド読者会 佐々木 一郎

スケジュール

15:30～15:50 (20分)

第一部「矛盾律」の概略を解説

15:50～17:20 (90分)

ディスカッション

17:20～17:30 (10分)

訳者 脇坂あゆみ氏より

第一部「矛盾律」の概略

この20分で何がわかるの？

3つのことがわかります。

3つとは、

『肩をすくめるアトラス』第一部の

1. 設定

2. プロット

3. 第二部以降に残される謎

です。

1.設定

「設定」というのは次の3つです。

- 時代
- 地理
- 登場人物

以下、「～年前」「～歳」などの表現は、
「物語の開始時点」を基準にしています。

時代

時代（その1） いつの時代？

- 特定されない未来

（この作品が書かれた1950年代から見て）

時代（その2） 社会風潮は？

- 金儲けへの軽蔑と嫌悪、非営利の礼賛
- 競争への嫌悪、協調の礼賛、自己犠牲の賛美
- 才能ある個人が果たす役割の否定。大衆や弱者の称揚
- 人生に意義や価値を求めることへの軽蔑。努力や誇りへの嫌悪
- 人々が「目的」ではなく「不安」に駆られて動いている
- 諸外国が社会主義国化（企業を国有化）。知識人・教養人は社会主義国に好意的
- 合理主義への嫌悪。知識人は不可知論や弁証法に依拠

ちなみに、これらはすべて同じ本質の現れである、というのがアイン・ランドの立場です。これらの現象を貫く本質は何なのか？ という謎を解いていくことが、この作品全体の重要なテーマになっています。

時代（その3） 他には？

8~9年前から……

- 優秀な人々がなぜか次々に失踪
- 経済が停滞。新しい商品が出ない。新車を買う人もほとんどいない。歴史ある大企業が軒並み業績を落とし続ける
- コロラド州だけが活況（エリス・ワイアットの技術革新で油田が復活して）
- 「Who is John Galt?（ジョン・ゴールトって誰？）」というスラングが流行

地理

『肩をすくめるアトラス』第一部の舞台

※鉄道のルートは推測に基づく大まかなものです



制作：東京イン・ランド読者会 佐々木 一郎
地図画像出典：ウィキメディアコモンズ
https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Usa_edcp_relief_location_map.png

登場人物

ヒロインとその腹心

- **ダグニー・タッガート（34歳）**
 - ・ アメリカ最大の鉄道会社「タッガート大陸横断鉄道」の業務取締役副社長
 - ・ 無能な兄ジェームズに代わり、鉄道の全運営を司る
- **エディー・ウィラーズ（32歳）**
 - ・ タッガート大陸横断鉄道の業務取締役副社長特別補佐。
 - ・ ダグニーの幼馴染にして右腕
- **タッガート・ターミナルのタバコ屋の店主**
 - ・ 小さな売店で20年にわたりタバコを売っている。ダグニーも時々立ち寄る
 - ・ これまで製造されたあらゆる銘柄のタバコに精通している

ヒロインを邪魔する者たち

● ジェイムズ・タッガート（39歳）

- ・ タッガート大陸横断鉄道社長
- ・ ダグニーの兄。ダグニーに依存しながらダグニーを嫌悪している
- ・ 議会や政府に働きかけて自社に有利な措置を引き出す手腕に長ける
- ・ 競争や格差拡大を嫌う

● フランシスコ・ダンコニア（36歳）

- ・ 世界最大の銅採掘企業「ダンコニア銅金属」のオーナー社長
- ・ 名門ダンコニア一族の頂点。投機の人
- ・ 世界最大の放蕩者にしてプレイボーイ
- ・ ダグニーの幼馴染で元恋人

● シェリル・ブルックス（18～19歳）

- ・ ニューヨークの安物雑貨屋の女子店員
- ・ ジョン・ゴルト線の建設者（と思い込んだ）ジェイムズを崇拜

英雄的な産業家たち

●ハンク・リアーデン（45歳）

- ・ 米国最大手の鉄鋼会社リアーデン・スチールの創業社長
- ・ 夢の合金リアーデン・メタルの開発者
- ・ 自分より能力のない者たちが自分を「強欲」と非難し、平然と自分にたかることを倫理的に正当と見なす
- ・ 性欲・性交を穢らわしいものと見なす倫理観の持ち主
- ・ ダグニーとビジネス上の関係を超えて愛し合うようになる

●エリス・ワイアット（33歳）

- ・ ワイアット石油（コロラド州）社長
- ・ 独自開発した技術で廃油田を復活させ、アメリカ経済を牽引する大好況をコロラド州にもたらした

●ダン・コンウェイ（50歳近く）

- ・ 「世界に残った唯一のまともな鉄道」フェニックス・デュランゴの創業社長
- ・ 多数決の公正性を信じ、自社の路線の営業停止を求める多数決に従う

英雄的な産業家にたかる者たち

●オルレン・ボイル

- ・ 5年前に多額の補助金を得て共同製鉄を創業、巨大企業グループを形成
- ・ しばしば全米の雑誌の表紙を飾り、ラジオ番組も持つ

●ウェスリー・ムーチ

- ・ ハンク・リアーデンが「機会均等化法」成立阻止のため雇ったロビイスト
- ・ ハンクを裏切った見返りに「経済企画国家資源局」の局長補佐に就任

●ロバート・スタッドラー博士（50歳過ぎ）

- ・ 国家科学研究所所長
- ・ 国民的尊敬を受ける学者
- ・ 27歳で宇宙物理学の定説を覆す理論を発表した

●バートラム・スカダー

- ・ 雑誌やラジオで産業家を攻撃して人気を博している言論人。

ハンク・リアーデンにたかる者たち

●ハンクの妻（リリアン）

- ・ 8年前にハンクと結婚
- ・ ハンクのことを「仕事のことしか頭にない」と非難し続けている

●ハンクの母

- ・ ハンクの家に住みながら四六時中ハンクを非難している
- ・ 息子のフィリップを溺愛している

●ハンクの弟（フィリップ、38歳）

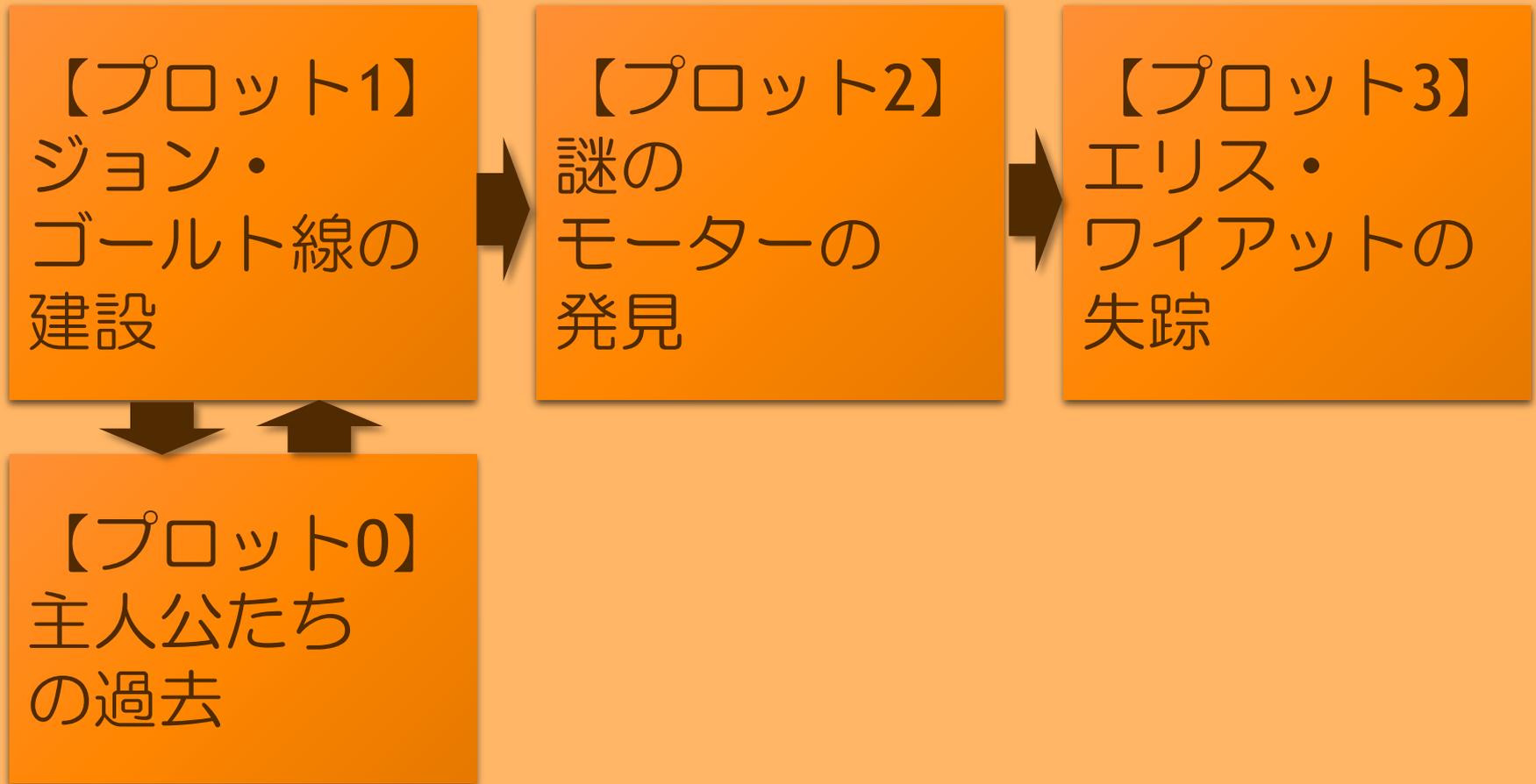
- ・ 大学卒業後就職せず、ハンクの家に住みながら社会運動に関わっている
- ・ 大学の学費から現在の生活費まですべてハンクに出してもらっている

●ポール・ラルキン（53歳）

- ・ ハンクの古なじみの実業家。ときどきハンクに借金している。

2.プロット

第一部の主要プロット



【プロット0】
主人公たちの過去

【プロット0】

1. 主人公たちの祖先
（百年～数百年前）
2. 主人公たちの少女・少年時代～青春時代
3. フランシスコの突然の墮落
（9年前）

主人公たちの祖先

●ナット・タッガート

- タッガート大陸横断鉄道の創業者
- （おそらく19世紀半ばに）数々の妨害をはねのけ大陸横断鉄道を建設。
- 政府からの支援をいっさい受けず、銀行家から農家まで、金を持つ人間一人一人に見込める利益の莫大さとその根拠だけを説いて資金を調達した。
- 利益の追求をあからさまにする態度から、存命中は悪名高かった
- ダグニーの曾祖父にしてロールモデル

●セバスチアン・ダンコニア

- 16世紀、当時世界最強の帝国だったスペインで、自らの見解を自由に表明して宗教裁判長と対立し、アルゼンチンに脱出。アンデス山脈の麓で木造のあばら屋を買って始めた小さな採銅業を、巨大な銅山企業グループに発展させ、ダンコニア財閥の基礎を築いた。
- ダグニーの最初の恋人フランシスコの祖先にしてロールモデル

主人公たちの少女・少年時代

1. ダンコニア財閥の将来の帝位継承者（フランシスコ）の遊び相手として両親から選ばれた、タッガート大陸横断鉄道の将来の継承者たち
2. 大人になったらどちらが家名を高めるか競おうと誓い合う
3. ダグニー、17歳の夏にフランシスコ（19歳）と肉体関係を持つ

フランシスコの突然の墮落

【プロット1】 ジョン・ゴールト線の建設

ジョン・ゴルト線って何？

「ジョン・ゴールト線」とは、タッガート大陸横断鉄道リオ・ノルテ線を敷設し直すにあたり、ダグニーがこの路線に付けた名前です。

「ジョン・ゴールト線の建設」は、この物語の中で成し遂げられるさまざまな偉業の中でも最高の偉業の一つであり、その成功はこの物語中最高のクライマックスです。

『肩をすくめるアトラス』第一部の舞台

※鉄道のルートは推測に基づく大まかなものです



なぜ、ジョン・ゴールト線の建設は「最高の偉業」なの？

1. 全長1200km（東京から佐賀ぐらい）に及び鉄道路線を
2. リスクを恐れて誰も使わなかった新合金を全面採用し
3. そのことでマスメディア、文化人、市民団体、業界団体などから轟々の非難を受けながら
4. やる気・能力のある人物が次々に消えていく状況で
5. 自らのリスクで会社を立ち上げ
6. （銀行が融資しないため）社債引受人を自分で探して資金を調達し
7. 9カ月以内に敷設し直さなければならず
8. 期限内に工事を完了できなければ全米最大の鉄道会社（タッガート大陸横断鉄道）、さらには全米の経済が壊滅的打撃を受ける状況だった

からです。

ジョン・ゴールト線のレールや橋に採用された新合金「リアーデン・メタル」の開発者であるハंक・リアーデンも、この偉業を支える重要な役割を果たしました。

「支える」といっても.....

「リアーデン・メタル」って
何？

1. ハンク・リアーデンが10年がかりで開発した夢の合金
2. 耐久力はスチールの3倍、価格はスチールの半分
3. 採用実績はまだゼロ

そもそもなぜ、リオ・ノルテ線を敷設し直す必要があったの？

1. タッガート大陸横断鉄道にとって、収益を確実に見込める唯一の路線だった
 - (コロラド州の産業が急激に発展して、貨物輸送需要が激増していたので)
2. 他の路線では、収益を上げられる見込みがなくなっていた
 - (コロラド州以外では、経済が停滞し貨物輸送需要が減少していたので)
3. にもかかわらず路線設備が老朽化したまま放置され、事故が多発し、最高速度20マイル(約32km)しか出せない状態だった

さらに、リオ・ノルテ線の再建工事が始まってから.....

4. サン・セバスチアン線とサン・セバスチアン鉱山がメキシコ民国政府に接收され、サン・セバスチアン鉱山にはほぼ鉱石産出の見込みがないと判明した

- （社長ジェイムズの賭けが外れ、サン・セバスチアン線に投資した4千万ドルが丸損に。損失を埋め合わせるためにはコロラド州の貨物需要）

ちなみに、なぜ鉾石を産出する見込みがないサン・セバスチアン鉾山に多額の投資をしたのかを（ダグニーに、そしてジェイムズに）問いただされたフランシスコの回答が、謎めいていて、振るっていて、この小説全体を貫く謎解きにヒントにもなっています。

5. 競合路線のフェニックス・デュランゴが、9カ月後（翌年7月）に廃止されることが決まった

- （社長ジェイムズが画策して成立させた「共食い防止協定（＝荒廃地域の交通網の維持に必要な資源が繁栄地域での過当競争で浪費されるのを防ぐため、指定区域での2社以上の鉄道路線の営業を禁止し、区域内で最も古くから営業する路線に先任権を与え、不適當に参入した路線は9カ月以内に業務を停止しなければならないとする協定）」で）

6. フェニックス・デュランゴ社長のコンウェイが、路線を引き渡すのを拒否した

- （社長ジェイムズの当てが外れた）

7. 急成長していたコロラド州が輸送手段を失えば、コロラド州の産業が崩壊し、アメリカ経済全体が壊滅的打撃を受ける（当然、タッガート大陸横断鉄道も壊滅的打撃を受ける）ことがほぼ確実だった

- （フェニックス・デュランゴの7月営業停止が確実になり、タッガート大陸横断鉄道・コロラド州・アメリカ経済の命運が、サン・セバスチアン線の再敷設が間に合うかどうかにかかることになった）

なぜ、リオ・ノルテ線の路線設備は老朽化したまま放置されていたの？

1. 8年前にワイアットが油田を復活させるまでは、コロラド州に大した産業はなく、ほとんど需要のない路線だった

2. 路線設備の維持・更新に投じられる資源が、極めて限られている状況だった

3. 6年前に社長に就任したジェイムズが、ワイアットの技術革新によるコロラド州の急激な経済発展を嫌悪していた

- （独立独歩の天才が、旧来の秩序を破壊し、格差を拡大させたことに対して）

4. ジェイムズが、限られた資源をサン・セバスチアン線の建設に投じることを強硬に主張した

なぜ、ジェイムズはサン・セバスチアン線の建設にこだわったの？

1. フランシスコ・ダンコニアの金儲けの才能を信じていた

- ・（まちがいなく巨利が得られると踏んだ）

2. メキシコの新社会主義政権を支持するワシントン官僚との政治的取引も？

なぜ、ダグニーはリオ・ノルテ
線を敷き直すために新しい会社
を作る必要があったの？

1. 「リアーデン・メタル製の橋は列車の重みで崩壊する」という世論が沸騰し、タッガート大陸横断鉄道の株価が暴落し、建設資金を調達できなくなった
2. 建設業者や建設作業員も確保できなくなった
3. 一番のきっかけは、リアーデン・メタルの安全性について警告する国家科学研究所の声明

なぜ、国家科学研究所はハンク
がリアーデンメタルを売るのを
妨害しようとしたの？

表向き理由

- 物理的危険
- 社会的危険

裏の理由

- 国家科学研究所の冶金部門（巨額の予算に見合わない成果）への批判が高まる恐れ
- 政治的取引？

なぜ、「ジョン・ゴルト線」
という名前にしたの？

1. タッガート大陸横断鉄道とのつながりをいっさい臭わせない社名にするようにジェームズに要求された
2. 「ジョン・ゴールトって誰？」というスラング（を人々が使うときの感情）への嫌悪

【プロット2】
謎のモーターの発見

【プロット3】
エリス・ワイアットの失踪

第二部以降に残される謎

1. Who is John Galt?
2. なぜ有能な人々が次々に失踪するのか？
彼らはどこに消えたのか？
3. なぜフランシスコは墮落したのか？ なぜ
苦しそうにしていたのか？
4. なぜモーターは工場に放置されていたの
か？
5. なぜ哲学者が山中の食堂でシェフを？
何を隠している？

以上、『肩をすくめるアトラス』第一部の

1. 設定

2. プロット

3. 第二部以降に残される謎

についてお話させていただきました。

ご静聴ありがとうございました。